

学科名	放送芸術科
コース名	
授業科目	映像リテラシー D 1
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	講義
時間数	30
単位数	2
担当教員	馬場定雄
実務経験	有
実務経験職種	映像制作の演出
授業概要	この授業では、現代までの映像技術から最新の技術までのハードウェア及びソフトウェアの知識を学びその知識を元に想像力・発想力を膨らませ最終的には個々の技術力の向上を伸ばすことが目的である。
到達目標	これまで学習して来た映像技術をさらに一段階あげ最新の映像制作における映像技術の知識や様々な製作プロセスを理解し総合的な技術力の総仕上げとする。
授業方法	テキストを毎回配布し、重要ポイントを空欄にしてテキストに書き込み覚える。映像の視聴を交えながら重要ポイントを理解する。
成績評価方法	学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。
履修上の注意	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。社会の桃子公に注意し自分でも、情報を収集、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に提示する。

授業計画	
第 1 回	放送とは 東京タワーと東京スカイツリーの役目、放送局の仕組みを理解する
第 2 回	デジタルメディア用語 ポストプロダクションにおけるデジタルメディア用語を学ぶ
第 3 回	放送局の仕組み 1 デジタル地上波、ワンセグ放送の仕組みを学ぶ
第 4 回	放送局の仕組み 2 BS, CS, CATVのそれぞれの役割を理解する
第 5 回	色々な放送仕組み 1 C S の仕組み電波の種類を学ぶ
第 6 回	色々な放送仕組み 2 C S の仕組み衛星からの受信方法を学ぶ
第 7 回	色々な放送仕組み 3 ネット配信のコンテンツ制作について理解する
第 8 回	色々な特殊撮影機器 1 クレーン、レール、steadyCAM、シンバルカムなどの特殊撮影機器の撮影方法を学ぶ
第 9 回	色々な特殊撮影機器 2 スカイカム、スパイダーカム、ドローン、ジンバルカメラなどのリモートカメラの仕組みを学ぶ
第 10 回	色々なテレビ ブラウン管からプラズマ、液晶、有機ELまでの歴史を学ぶ
第 11 回	色々な撮影カメラ機器 1 4 K 放送やHDRについて仕組みを理解する
第 12 回	色々な撮影カメラ機器 2 映画用カメラ、放送カメラ、レンズの種類を学ぶ
第 13 回	色々な編集、合成機器 1 AVID、FinalCutPRO、プレミア、ダビンチなどのノンリニア編集機の種類を学ぶ
第 14 回	色々な編集、合成機器 2 映像合成機器の種類や合成のしくみについて理解する
第 15 回	映像フォーマットについて 映像業界で使用されている色々なファイル形式や記録媒体を理解する